

2026 年度 春期実施
課程：後期
専攻：メディア学
No. 1

大学院外国人留学生入学試験問題

(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。
☒ 別紙の解答用紙 2 枚に解答すること。

試験科目 英 語	受験番号
氏名	

〔I〕以下は、朝日新聞の英文サイト「The Asahi Shimbun」に 2025 年 1 月 20 日付で掲載された社説の一部です。全文を日本語に翻訳しなさい（解答用紙は別紙）。

※

（著作権の都合上、問題文を掲載しておりません）

2026 年度 春期実施

課程：後期

専攻：メディア学

No. 2

大学院外国人留学生入学試験問題

(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。

☒ 別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 英 語	受験番号
氏名	

[Ⅱ] 下記の文章は、メディア学の学際的研究について論じたものである。よく読んで以下の間に答えなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載しておりません)

[Philosophy & Media: A Conceptual Typology | Global Philosophy | Springer Nature Link](#) より引用

- 下線部 (a) を日本語に訳しなさい。
- 下線部 (b) を日本語に訳しなさい。
- メディア学と哲学の学際研究について、問題文ではどう考えているか。本文の内容に即して日本語で説明しなさい。

2026 年度 春期実施

課程：後期

専攻：メディア学

No. 1

大学院外国人留学生入学試験問題

(注) ☒ 問題用紙に直接解答すること。

☐ 別紙の解答用紙 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

〔Ⅰ〕生成 AI の進化やプラットフォームの影響力増大により、偽情報や誤情報が民主主義に与える影響が懸念されている。過去数年以内に発生した、社会的に大きな影響を与えた「偽情報（または誤情報）」の拡散事例を挙げなさい。その事例において、ジャーナリズム（既存メディアやファクトチェック機関など）はどのような役割を果たしたか、あるいは果たすべきだったかを検証し、デジタル時代におけるジャーナリズムの在り方について論じなさい。

2026 年度 春期実施
課程：後期
専攻：メディア学
No. 2

大学院外国人留学生入学試験問題

- (注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。
☒ 別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

出典：津田正太郎「プロパガンダエージェントとしてのオピニオンリーダー」『法學研究』93 卷 12 号、2020 年

1. オピニオンリーダーとはなにかを説明しなさい。
2. オーディエンスが自らの政治的先有傾向に従ってマスメディアに選択的接触を行うことについて、あなたの考えを述べなさい。